

2016 熊本地震被災地の障害者を救おう！

# 熊本地震大阪障害者支援ニュース vol.2

2016年5月9日(月) 2016熊本地震大阪障害者緊急対策連絡会本部 (TEL06-6697-9005)

2016年熊本地震は、発生後もうじき3週間も超えようとしていますが、いまだに続く余震(5日現在1250回)の影響等もあり、復興に向けた対応は引き続き様々な困難を抱えたままとなっています。



特に今回の地震では、余震等の恐怖から避難所外(車中泊)等での避難者も多く、その全容が十分把握されていない状況がある一方、車中泊等での災害関連死(エコノミークラス症候群等)は18名を超えると報道されています。

物資配給や一定のライフラインの改修なども徐々に進み始め、高速道路の普及や9日から学校も再開されるなどの明るいニュースも届いていますが、「支援ボランティアが急減」「車中泊の8割が孤立化」「雇用先の倒壊で失業、労働相談が5500件」等様々な申告状況も報道され、本格的復旧のめどはまだ立っていないのが現状です。

ある障害者家族は、「家の安全性が確認されない中で、視力障害者の二人では、片づけもできない。大事なものがあるのにそれすら取り出すこともできない。」と悲痛な訴えが出されています。

また、報道などでも明らかのように、福祉避難所の開設は不十分なうえ、そこでの支援にあたる介護職等は、「自らが被災しながら、交代の無い介護に疲労はピークに達している。」との訴えも出されてきています。

まさに、復興に向けた取り組みはこれからが正念場といえる状況となってきています。

## 「きょうされん」からも支援派遣を開始

「きょうされん」は、JDFと共同してその支援をスタートさせていますが、これまで以下のような活動を展開しています。

### 【熊本】

・5月4・5・7日:西原村たんぼぼハウスでの炊き出し支援

に、九州加盟事業所から3人派遣。

・5月9日～13日の西原村・たんぼぼハウスへの日中支援の支援員派遣を決定(愛知・大阪)

・4月25日～継続してきた、夜間支援の支援員派遣→ ※5月7日で夜間支援は終了

・5月4～5日:宇城圏域の福祉事業所の訪問調査活動

・5月5日:宇土市の福祉事業所の訪問調査活動

・5月5日 熊本県・日本相談支援専門員協会(NSK)とJDFが連携した聞き取り調査に向け懇談(派遣調整中)

今後、こうした派遣要請に応え、大阪からも支援派遣を行っていく予定にしていますが、被災者も含め、現状での「メンタルヘルスケア」は重要な課題となります。対策連絡会では、東日本大震災の教訓をもとに「支援の手引き」作成するとともに、「派遣者事前学習会」を計画しています。

ぜひ、現地支援派遣を予定されている方は、ぜひご参加を頂けるよう呼びかけを行っています。

### ◎被災地支援に入られるみなさまに P e r t 1

～復興期の支援にあたって留意いただきたいこと～

日時:2016年5月21日(土)AM10:00～

場所:大阪障害者センター 大会議室

講師:山本耕平氏(立命館大学)

(対象:現地支援予定者)

※講師の都合で日程変更の場合があります、その際はご連絡させていただきます。

### 【義援募金窓口】

また、熊本地震への障害関係の募金窓口も一本化することを決定し、幅広い協力をお願いしています。

\*\*\*\*\*

※大阪での支援募金受付窓口(東日本大震災時に開設された、共同口座を利用します。)

◇ゆうちょ銀行

◇口座名

障連協 障害者(児)を守る全大阪連絡協議会

◇店番 〇九九

◇当座 0305963

\*\*\*\*\*

